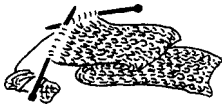


## 第3部

# 一人一人の子供を生かす連携の在り方





社会全体が、これまで経験したことのないスピードで動いています。モデルになるべき大人がその変化に対応しきれず、右往左往している感もあります。

当然、子供たちをめぐる環境も、めまぐるしく変化しています。見通しのきかない不安定な時代に情報だけはあふれ、子供たちの行動様式は予想を大きく超え、様々な問題を提示してきました。

こうした状況に、「子育てを家庭・学校・地域で」と共に育てる共育が提唱され、「開かれた学校」を目指して多くの改革や取り組みが工夫されています。そうした努力の結果、少しずつですが連携の兆しが見えてきました。地域の各専門機関も連携の必要性を認識し、様々なサービスを用意しています。子供をめぐるサポートネットが動き出したところです。

第3部では、「一人一人の子供を生かす連携の在り方」として、各種の専門機関や人的資源を紹介しています。適時適切に活用してこそ、効果が期待できます。そのためにも、どんなネットが必要なのか、また可能なのか、それぞれの事例を参考にいただければ、きっと役に立つ情報が見つかると思います。ご活用ください。

